

プランター30基 札幌市に寄付

マルミプラス 50周年記念で

マルミプラス（本社・札幌市北区）は26日、創業50周年を記念して50万円相当のたる型プランター30基を札幌市に寄付した。写真。

同社は1966年2月の創設。緑化事業に携わっていることから、都市部の緑化推進にと寄付を決めた。記念事業として、あえて旧社名の丸三三浦商事として実施した。

この日は、刈田晋弥社長ら3人が



大通バスセンタービルの環境局みどりの推進部を訪問。刈田社長が「花と緑のまちづくり」に役立ててもらえれば」と述べ、酒井裕司みどり環境担当局長に目録を手渡した。

酒井局長は、都心部の緑化は海外観光客からも非常に好評だと伝え、「緑の魅力発信に力を貸していただけてありがたい」と感謝状を贈った。